

新たな感染症とともに



デルタ株の流行により、国内の状況は一変しました。40代、50代の重症例が多数発生しています。子どもたちの感染事例も多く報告されるようになり、発熱をはじめとした症状のある場合も多くなってきました。注意が必要であることは間違いありませんが、では悲観的なのかというと、そうではありません。やはりコロナウイルスはどれだけ変異してもコロナウイルスです。国内の小児科医と様々な場面で連携し、意見交換をしています。国内に子どもの重症例はほぼいません。子どもには大人しいままです。扇動する報道も目につきますが、多くが科学的根拠を欠いた内容であり、推測の域を出ていません。海外のデルタ株に関する報告でも、小児の重症化については「根拠なし」と明記されています。国が異なれば、医療制度も健康状態も異なり、日本に当てはまる部分とそうでない部分があります。コロナを軽視せず、一方で悲観せず。

保護者の皆様にはご自身の感染対策、ワクチン接種、健康管理に努めてほしいと願っています。われわれ大人が冷静になり、感染対策をしっかりとすることで子どもたちの日常を守ってあげることができるはずです。引き続きご協力のほど、宜しくお願い致します。

富山市立学校新型コロナウイルス感染症対策検討会議 座長 種市 尋宙



学校現場や保護者の皆様の疑問や不安にお答えします

まん延防止等重点措置が適用される中、2学期が始まります。学校では、どんなことに気を付けて過ごせばよいのでしょうか。改めて検討会議の医師に答えていただきました。

Q.感染症対策は？

変異種（デルタ株）の流行が拡大していますが、学校生活の中で特別な感染症対策は必要ですか？

【デルタ株】

現在世界的に流行の中心となっている変異ウイルス。感染力は従来株のおよそ2倍。

現在国内で接種が進んでいるファイザー社やモデルナ社のワクチンを接種した後に感染した例も報告されていますが、そのような場合はほとんどが軽症で重症化はまれです。デルタ株に特別な感染対策があるわけではありません。これまでどおり、マスク・換気・手指衛生等が有効です。

今回の変異ウイルスは、子どもにも多少症状が強く出ている状況ですが、以前と同様に、死亡を恐れるような感染症ではありません。基本的な感染症対策を遵守している中で、もし感染したとしても動揺しないことが一番大切です。それは普通に起こりうることであり、悪いことをしたという結果ではありません。（種市医師）

一部感染経路不明の小児の感染例もありますが、ほとんどが家族内感染です。

社会から家庭に持ち込まないという意識はこれまでと同様です。

感染症対策に関する行動では、衛生管理と密を避けることの遵守で、現状以上のことをする必要はありません。（八木医師）

先に接種を受けた高齢者がワクチンの効果で守られるため、新しく報告される感染者は若年者の占める割合が高くなっていきます（予防接種を先んじて進めていたイギリスやイスラエルでも同様の傾向がありました）。感染者の総数が増えれば子どもの感染も増えます。周囲の大人が感染リスクの高い行動をせずに地道な感染対策を続け、ワクチンを受けられる人から順次接種していくことが、子どもたちを守ることに繋がります。（高崎医師・堀江医師）

Q.給食は？

大人数での会食は、感染リスクが高いと言われていますが、給食は本当に大丈夫ですか？

会食のリスクが高いと言われるのは、マスクなしで会話をするようになるためです。
多くの学校では、皆同じ方向を向いて私語を控えて食べており、いわゆる「リスクが高い会食」とは異なる状況です。給食を分散して食べるなどの対応は不要です。
校内放送などの工夫によって、会話を控えても楽しい雰囲気が作れるとよいですね。
(高崎医師)

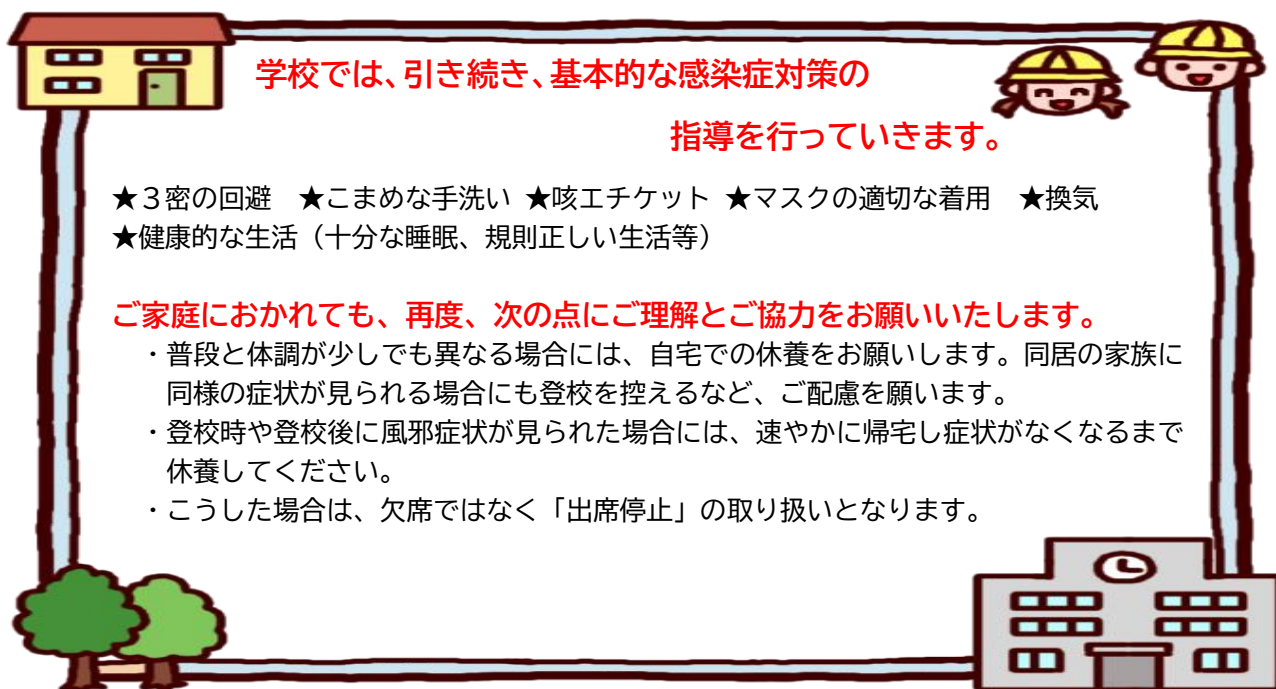
Q.マスクは？

体育の授業で、マスクを外して活動する場面があると思いますが、感染の心配はないですか？また、市中感染も心配です。登下校中にマスクを外していても大丈夫ですか？

子どもたちの感染者数は多少増えると思われますが、デルタ株の性質上、それはやむを得ないと思います。ただし、気道感染症のウイルスとして感染性が少し高まったとはいえ、まだまだ暑い中、マスク着用で体育や運動（登下校含む）を行う方が健康被害のリスクが明らかに高いと考えます。

苦しい中でマスクを着用させるのではなく、マスクを外す場面では近距離での会話を控えるなど、別の感染対策の手段を取るように伝えましょう。引き続き、子どもたちが運動時にマスクを外すことを罪悪のように感じることをないようにお願いします。

子どもたちにとってコロナ感染より危険なことはたくさんあり、無理をさせるような雰囲気を作ってはいけません。（種市医師）



※これまでに発行したリーフレットは、市学校保健課、各学校（園）のHPで見ることができます。
リーフレットの内容については、必要に応じて改定することもあります。

【事務局】富山市教育委員会 学校保健課(TEL 443-2136)